

デジタルアーカイブを用いた「沖縄おうらい」の活用フィードバックによる改善

～観光の結果から意見や活用方法やコンテンツ等の提供～

加藤真由美（岐阜女子大学 沖縄サテライト校）

岐阜女子大学沖縄サテライト校では、約2万件の沖縄の舞、踊り、沖縄戦跡、社会資料、産業、文化、住居（建築物）、伝統的工芸品などのデジタルコンテンツを収集、保管してきた。

資料の中から沖縄の観光としてデジタルコンテンツを抽出し、「沖縄おうらい」を開発し、提供してきた。

（注）「沖縄おうらい」の「おうらい（往来）」は平安時代から用いられてきた古語であり、たとえば沖縄では、袋中上人『琉球往来』（1605年）がある。

沖縄観光で使われた方からのフィードバック……毎年改善

「沖縄おうらい」は2011年に開発し、2012年から毎年1万件以上利用されてきた。とくに、高等学校の修学旅行で使われ、生徒や先生方からさまざまな意見や改善点のフィードバック、さらに高校生からの撮影映像（コンテンツ）の提供もあり、毎年改善をしてきた。

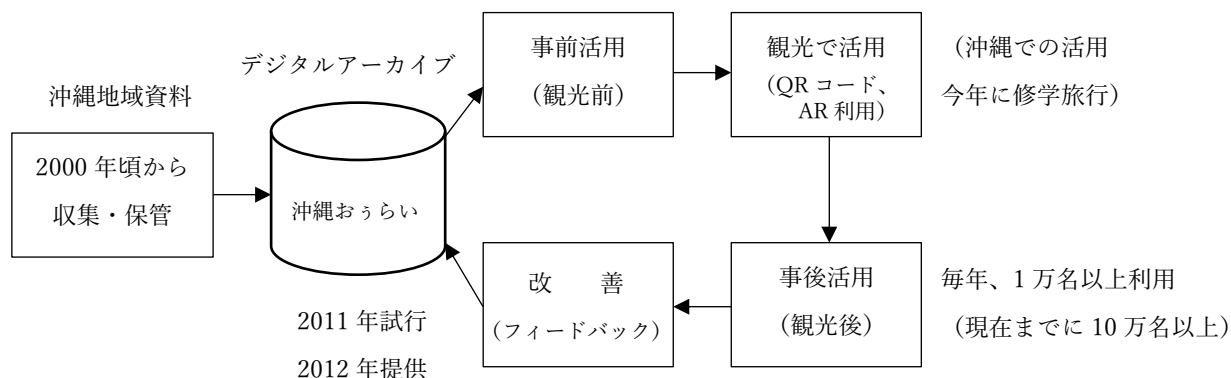


図 2012年～毎年、活用者からのフィードバックデータ（意見等）で改善

還元情報（フィードバック）例

（１）活用情報（利用注意）

開発機関または活用者にとって、どのような利活用がされたかは役立つ情報である。

例：事前学習・調査で利用（※高校では、修学旅行の事前学習だけでなく、国語や社会科学等の授業内で利用との報告もあり、多様な使い方がなされている。これらに対応したさらなるデータ（コンテンツ）の追加の検討が必要である。）

（２）改善の要望

①全体（沖縄おうらい）に対する構成の要望 例：年表、平和学習関係資料等の追加 等

②各デジタルコンテンツの改善や追加等の要望、使って役立つ情報 等

（３）活用者からの収集・編集したデジタルコンテンツの提供

活用者から沖縄の観光で撮影した映像等の提供を受け、観光地への映像使用などの許諾処理を行い、「沖縄おうらい」へ追加利用した。

（４）特色（利用結果の報告）……利用者への広報が必要

観光の事前または事後に、「沖縄おうらい」に掲載しているレシピを参考に、沖縄の食材を使って調理。（※高校では、実際に家庭科の授業で活用）

改善と活用コミュニティへの広報（活用情報提供）

このようなフィードバックデータは、改善情報として、また、活用コミュニティへの広報（このように活用されているとの活用情報の提供）にも利用することができる。

—改善等の事例—

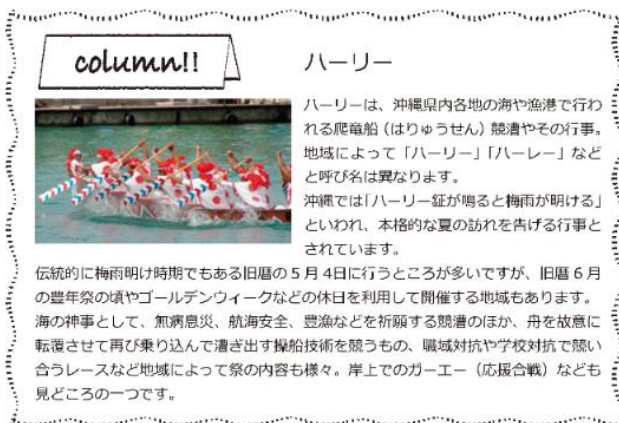


図 「コラムなど生徒が読みやすいものがあると興味があり湧くのではないか。」というフィードバックがあり追加したコラム「ハーリー」（「沖縄おうらい」（2019）6、沖縄の伝統文化（p.54）



図 沖縄県に修学旅行で訪れた高校生による資料提供により追加したコンテンツ「伊江島」「ガンガラーの谷」